

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画 進行管理一覧表(見本)

I 事業の進捗状況

目標1 安心・安全の仕組みづくりの推進

(1) 相談支援事業の充実

② 利用者の立場に立った相談体制の充実

| 番号 | 4 | ページ | 75 | 担当部署 | 地域福祉推進課 |
|------------|---|--|---|------|---------|
| 事業名 | 地域福祉コーディネーター(仮称)の育成・配置 | | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会や地域の社会福祉法人などと連携して、様々な福祉課題を抱える市民を発見し、包括的・持続的な自立支援につなげることができるように、地域福祉コーディネーター(仮称)の育成・配置を図ります。 ・地域福祉コーディネーター(仮称)として、社会福祉士など福祉分野の有資格者や、相談業務の経験のある、福祉サービス全般に精通した人材を、福祉エリア(6地区)に段階的に配置します。 ・地域福祉コーディネーター(仮称)と市の総合相談窓口が連携することによって、横断的な視点から、身近な福祉課題の解決を支援します。 | | | | |
| 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | |
| Plan(計画) | ・地域福祉コーディネーターの配置に向け、地域における福祉相談体制と支え合いの仕組みづくりを推進する | ・地域における福祉相談体制と支え合いの仕組みづくりを推進する。社会福祉協議会と連携・協力し、地域福祉コーディネーターを2圏域に2名程度配置し、モデル事業を実施する | ・地域における福祉相談体制と支え合いの仕組みづくりを推進する。実施状況を踏まえ、地域福祉コーディネーターを各圏域に段階的に配置し、実施する | | |
| Do(実行) | ・関係課や社会福祉協議会等と協議 ・政策会議への新規施策の提案 | ・2圏域に各1名の地域福祉コーディネーターを配置した ①押立町及びその周辺地域 ②武蔵台、北山町、西原町及びその周辺地域 ・地域福祉連絡会の設置 市と社会福祉協議会の管理職9名による連絡会を設置し、地域福祉コーディネーターの役割や配置基準などの協議や実施状況を検証した | | | |
| Check(評価)※ | ○ | ○ | | | |
| Act(改善) | ・エリアごとに地域福祉コーディネーターを段階的に配置するための取組を継続する | ・エリアごとに地域福祉コーディネーターを段階的に配置するための取組を継続する | | | |
| 備考 | | 【参考】地域福祉コーディネーター事業費 (府中市社会福祉協議会へ委託) 予算10,350,000円 決算10,350,000円 執行率100% | | | |